

会 議 録

会 議 名 称	令和3年度 第1回登米市総合計画審議会
開 催 日 時	令和3年5月25日(火) 午前10時開会 午前11時15分閉会
開 催 場 所	登米市役所南方庁舎 2階 大会議室
議長(会長)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之
出席者(委員)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之【会長】 登米市子ども・子育て会議 委員 鹿野 良子【副会長】 登米市景観形成会議 寺島 洋子 登米市都市計画審議会 遊佐 正克 登米市男女共同参画審議会 会長 須藤 明美 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 所長 江畑 正徳 登米市中学校長会 鈴木 光之 特定非営利活動法人登米市体育協会 会長 佐々木 猛 登米市文化協会 理事長 鈴木 敬一 一般社団法人登米市医師会 副会長 松本 宏 登米市民生委員児童委員協議会 会長 小橋 三男 登米市食生活改善推進員協議会 副会長 千葉 みどり 一般社団法人登米市観光物産協会 会長 猪股 育夫 登米地域商工会連絡協議会 会長 阿部 泰彦 宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 支部長 高橋 平克 みやぎ登米農業協同組合 常務理事 須藤 正美 登米市環境市民会議 菅原 亜希子 登米市コミュニティ推進連絡協議会 会長 鈴木 香 以上 18人
欠席者(委員)の氏名	社会福祉法人登米市社会福祉協議会 事務局長 戸 敬吾 公益社団法人とめ青年会議所 理事長 岡本 哲志 以上 2人
事務局職員氏名	【事務局】 まちづくり推進部 部長 佐藤 裕之 まちづくり推進部 次長 永浦 広巳 まちづくり推進部まちづくり推進課 課長 浅野 之春 まちづくり推進部まちづくり推進課 課長補佐(総合調整)伊藤 宏一 まちづくり推進部まちづくり推進課 課長補佐兼まちづくり推進係長 岸名 紀彦 まちづくり推進部まちづくり推進課 まちづくり推進係 主査 佐藤 彩
議 題	【協議事項】 ①第二次登米市総合計画の基本計画等に掲げる主な成果指標に対する成果の検証について ②登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる主な評価指標に対する成果の検証について
会 議 結 果	別添のとおり
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	【資料1】第二次登米市総合計画 令和2年度実施状況について 【資料2】登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和2年度実施状況について

発言者	発言要旨
【1 開会】	
事務局	<p>本日はお忙しいところお集りいただき、ありがとうございます。ただいまから、令和3年度第1回登米市総合計画審議会を開催させていただきたいと思っております。</p> <p>本日の審議会は次第にありますとおり、委嘱状の交付および協議事項2件につきましてご審議をいただくこととしております。</p> <p>なお、本日11番の穴戸委員、20番の岡本委員の2名から欠席の連絡をいただいております。</p> <p>それでははじめに市長より新たに就任される委員に委嘱状の交付をさせていただきます。大変恐縮ですが、お名前をお呼びいたしますので、その場で起立をお願いいたします。</p>
【2 委嘱状の交付】	
	市長から就任される委員に対し、委嘱状を交付。
【3 挨拶】	
会長	<p>改めまして大変ご苦勞様です。おはようございます。先週から「おかえりモネ」が始まりまして、久しぶりにここも昔行っただけど随分変わったなとかですね、その一方でなんかちょっと違和感があるなど、ここがあれかとちょっと違和感を感じながら毎日楽しく観させていただいているところでございます。またその中で、今回単にこの効果によって観光客が増えるというだけではなくて、森林、林業に光を当てていただいたりとかですね、地域に対する想いとか、そういうところが視聴者にも伝わって、単に交流人口ということだけではなく、定住とか、そういうところにも良い影響を与えてくれるのではないかとというふうに期待しているところでございます。</p> <p>そういう中で本日ですが、第二次登米市総合計画並びに登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略、こちらの令和2年度に関する成果検証をさせていただくことになっております。特に総合戦略の方につきましては、計画期間が終了ということで総括的な検証をお願いするというので、単に終わったことを検証することだけではなくて、それを今後どう活かしていくのかというところで、皆様方から忌憚のないご意見をいただければというふうに思っておりますので、本日もどうぞよろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>皆様おはようございます。大変ご苦勞様でございます。間もなく梅雨入りという時期に差しかかりつつあるのかなとは思いますが、今日も大変素晴らしい天気です。本当に晴々とした気持ちになるような天気だなとそういうふうに思います。市内の田植えの方も順調に進んでいるようでございます。若干遅れ気味のところもありますけれども、まあ順調なのかなと、そういうふうに思っているところでもございます。</p> <p>今、徳永先生からお話ございましたけれども、登米市民にとっては待ちに待ったということでございますけれども、NHKの連続朝のドラマ「おかえりモネ」が始まりました。非常にスタートから好評だと皆様方からそういうお話をいただいております。つい先日も気仙沼市におきまして私と気仙沼市長、それから「あまちゃん」で有名になりました岩手の久慈市、それからつい昨年「エール」の舞台となった福島市の4市長が揃いまして、福島は都合が悪くて担当部長が入ったんですけども、共同記者会見をさせていただきました。広域的に朝ドラの繋がりを持って、観光客誘致あるいは地域振興に繋げようということで、お互いの意見が一致したところでございます。</p> <p>また、おかげさまで22日からコロナの高齢者中心の集団のワクチン接種がようやく始めさせていただきました。医療関係者あるいは施設の</p>

	<p>方は始まっていたんですけども、集団での接種がようやく始まったということでございます。7月2日までに高齢者のワクチン接種を何とか終了させていただきたいというふうに思っております。松本先生もいらっしやっておりますけれども、医療関係者の皆様に本当に大変なご努力をいただいているその賜物だとそういうふうに思っております。</p> <p>実は一つのエピソードなんですけれども、昨日ですか、私の方に東京の方から手紙が届きました。この方は2年ほど前に迫町から東京の娘さんの所に移り住んだ方でございますけれども、全国紙に東京の方にもこの登米市のワクチン接種のやり方が紹介されて大変嬉しかったと、それからもうひとつは「おかえりモネ」の話も一緒にありましたので、非常に嬉しかったと、そういう我々にとっても嬉しいお手紙をいただいたところですので、ご紹介をさせていただきました。</p> <p>それでは、ご挨拶をさせていただきたいと思えます。</p> <p>ただいま、江畑所長様をはじめ、2名の委員の方に委員としての委嘱状交付をさせていただきました。前任者の残りの期間となりますけれども、どうぞよろしくお願いを申し上げたいと思えます。</p> <p>さて、本日の会議では第二次登米市総合計画基本計画並びに登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和2年度実績値について各評価指標項目における成果の検証を行っていただくものでございます。どちらの実績でも内容をみていただくとご理解いただけるかと思えますけれども、新型コロナウイルス感染症により、多くの事業において影響が出ていることが理解できますけれども、これからは、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた事業展開への方向転換など考えていかなければならないと思っているところでもございます。</p> <p>また、登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略につきましては、令和2年度までの計画期間でありましたので、最終的な戦略の実績検証となります。既に第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略が今年度からスタートして取り組んでいるところでございますけれども、これからの事業展開へ実践できるよう、ご意見として承りたいと思えますので、各委員の皆様方からの活発なご発言をお願いを申し上げたいと思えます。どうぞ本日はよろしくお願いを申し上げます。いつもありがとうございます。</p>
	【市長退席】
【4 議 題】	
事務局	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>議長につきましては登米市総合計画審議会条例第7条の規定により、会長が議長となり、議事の進行を行っていただくことになってございます。徳永会長、よろしくお願いをいたします。</p>
会 長	<p>それでは、進行させていただきます。</p> <p>まず始めに、登米市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により、審議会の会議は、委員の半数以上の出席が必要ということでございますが、本日は20名中18名の委員に出席をいただいておりますので、会議は成立しております。</p> <p>次に議事録署名人の指名を行います。今回は14番 猪股育夫委員と15番 阿部泰彦委員をお願いしたいと思います。</p> <p>よろしくお願いをいたします。</p> <p>それでは4の議題に入らせていただきます。</p> <p>「(1) 第二次登米市総合計画の基本計画等に掲げる主な成果指標に対する成果の検証について」ということで事務局からの説明をよろしくお願いをいたします。</p>

事務局	(配布資料1に基づき説明を行う)
会長	それでは、委員の皆さんからご意見、ご質問等いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
会長	冒頭にもありましたように、コロナの影響でかなり実施できなかったりとか、人の流れを抑制せざるを得ないという中でなかなか苦しい数値になっているところも多いんですが、できればそのコロナの影響ということで分けて書ければいいんですけども、なかなかそれが現実的には難しいのかなというところで、備考などでコロナの影響でということと説明されているわけですけども、この状況が今年度も続くということになると思いますので、さらにそれを踏まえて、今後さらにどうするかというようなことも考えていかなければならない状況ではあるかと思いますが。
委員	<p>5ページの「こども」「教育の充実」「分かりやすい授業の展開度」のところで、指標の説明の中に、「全校生徒へのアンケート」とあります。全校生徒という文言、これは間違いございませんか。</p> <p>というのはですね、私、一昨年ですか、国の補助金で各学校にエアコンを入れた際、私は北部地区担当で迫・石越・新田の小中学校、それから幼稚園をみんな回りました。学校に行ってみるとびっくりしたのが、組じゃないクラスといいますか、あおぞら学級とか、結構ありました。各学年ごとにあります。だから、全校生徒というのは、そういうのもカウントされていると判断できる文言ですよ。教育格差、差別とはいいませんが、区別ですよ。30人の子どもたちの中に2人授業についていけない子どもがいれば当然排除とはいいませんが、特別に授業を、指導をしましょうと、そういう考えですよ。だから全校生徒へのアンケートというのは、前にも言ったんですが、目標が93%、そういう子どもをカウントしないで、残りの7%の中には特別学級の生徒の分が含まれているのではないかと、そういうことを言いたかったんですよ。</p> <p>ただ、教育は皆平等ですから、ノーマライゼーションで区別しては駄目なんです。普通に扱わなければならない、これは世界人権宣言で宣言していますから、全校生徒へのアンケートと書いていますが、私はそういう子どもたちがとても気になっている。この子どもたちの将来はどうなるのだろうととても心が悩んだ時期もあった。そういう子どもたちの居場所・存在、このアンケート結果に含まれているのでしょうか。</p>
事務局	事務局としても、今お話いただいたような括りでの全校生徒かどうかということまでは、担当部署へ確認をしないと分からないところですが、ご心配されていたようなお話、平等といった観点、担当部署の方へお話をしながら、全校生徒なのかということを確認していきたいと思えます。
委員	ぜひですね、区別された子どもたちの将来、いつもヘレンケラーのサリバン先生を思い出しますが、ああいう教師にさえ恵まれれば、子どもはものすごい才能を発揮する。この頃はダウン症のお子さんを持った母親がその子に一生懸命習字を教えて、書道家、立派な芸術家にしたケースもあります。そういう子どもたちは、何かのきっかけで物凄く才能を伸ばす子どももいるのではないかと考えているので、登米市でも何とかその辺の教育を充実させて、子どもの夢を伸ばせるようになってもらいたいと思います。
事務局	委員からのお話は指標の部分というよりは、教育関係のご意見ということで、担当部署の方へ伝えていきたいと思えますけれども、よろしいでしょうか。

<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>只今のご意見、非常に重要な視点だと思っております、総合計画とかそういう全体計画の中では、一般的に捨える数値、そういうもので計画を書いているところが多いんですが、やはり教育に限らず、すべてがそれでカバーできるものではないということで、そこから取り残されると言いますか、下手をすると取り残されてしまうという、そういうことは、どの分野でもあり得る話です。そういう意味で、全体の数字を見て、着実にそれを進めていくということも重要ですが、その一方で、そういう抜け落ちがないかそういうところにもきちんと目を配って努力していく、その両方が必要かと思えます。そういうところは、なかなかこういった計画には載ってこない、言いづらいところがあるので、ここでは表現できないのかもしれませんが、実行していく上で、しっかりとそこは、抜けが無いようにしていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p> <p>なかなか、コロナの影響で値が下がったものが多く、順調に進んでいるのか、コロナの影響がなければ、順調に進んでいたのかどうか、そのあたり判断しにくいところではありますが、今言ったように、きちんと細かく目を光らせていく中で、ちゃんとできるところは、しっかり進んでいく。また、コロナの影響を受けているところについては、コロナが落ち着いたら、きちんと実行できるように準備をしっかり進めていくということが肝要なのかなと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>他によろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次の議題に進みます。</p> <p>「(2) 登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる主な評価指標に対する成果の検証について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(配布資料2に基づき説明を行う)</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは、こちらにつきまして、委員の方からご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>前回もお願いをした経緯がありますが、非常に実績として、移住・定住者が相当な数、伸びてきているという実績が報告されました。前回もお話したところですが、加賀野の新興住宅地、都市計画地の40町歩から50町歩以外のところがどんどん開発されて、乱開発とは言いませんが、いろんな都市計画の影響を受けて、農地が宅地化されてきている。そういう中であって、住環境の整備が遅れている。業者の方が田んぼを埋め立てして、宅地化して売るということは大いに結構なことなんです、その場所で生活する新たな登米市民の方々の住環境のいろんな受入れ先の部分、例えば道路の問題、歩道の問題、あるいは子どもたちの通学路の問題、もっと大切な排水路の問題、改良区を含めた用排水の受入れの部分、生活雑排水も含めて、垂れ流しになっている状況が無いとは言えない。一昨年あたりから夏場なんかは非常に大変な問題が出てきている。元々住んでいる私なんかは、住民から何とかならないかとよく言われるものですから、ここの会議に参加させていただいて何回か話をさせていただいていますが、その調査がほとんどなされていない。地域の方々に調査に来た状況があるか聞いてみても、来ていないとのこと。改良区に聞いてみても、それは市の問題だと。市に聞いてみれば、改良区の問題だと。お互い擦り合いをしている。</p> <p>登米市の移住・定住者が600くらい増えているということは、大変素晴らしいことではあります、都市計画のように住環境を整備したとこ</p>

	<p>ろに来てもらえれば、さほど問題はありませんが、そうでない、農地を宅地化したところというのが、なかなか受入先が、行政含めた対応が遅れているというところは、前から言っているところです。ぜひこれは喫緊の課題だと思いますので、せっかく登米市においでいただいた方々に登米市はいいところ、住んで良かったと思っていただけるような住環境の整備を行っていただきたい。遅くとも年内には、確認をして回っていただきたい。場所が分からないのであれば、私が案内してもいいので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。</p>
事務局	<p>大変貴重なご意見、ありがとうございます。委員の方からこれまでも何回かにわたり、今回いただいた意見をいただいたところでありませう。私どもも会議の中でこのような意見が出たということは、関係部署へ伝えているところでございますが、今のお話を伺いますと、なかなか委員の思いが担当部署に伝わっていないのかなという思いもございませうので、私の方でしっかり伝えたいと考えてございませう。これまでも総合計画の中で、委員がおっしゃった居住環境の整備ということで、これはしっかりまちづくりの中に活かしていこうということで、総合計画の中に書き込んでございませうので、こういった意見を参考にしながら、よりよいまちづくりの取組に繋げていきたいと思ひませうので、今後とも様々なご意見等いただければというふうに考えてございませう。ありがとうございます。</p>
会長	<p>これに限らず指標ごとに主担当になる課があるわけですが、それに付随していろいろな部署が関連して行動しないといけないう部分も多々あるかと思ひませうので、この問題に限らず、そのあたりの連携をしっかりと取っていただくというふうにお願ひしたいと思ひませう。</p>
委員	<p>ご苦労様です。登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和2年度実施状況を見させていただきましたが、基本方針の中で、令和2年度の目標に対する達成率が、残念ながら令和2年度は前年度より全部落ちていませう。これはご覧になれば分かると説明がありませうが、8割、9割言い訳にしか聞こえませうでした。コロナの関係だということは分かりますけれども、コロナが続けばずっとこのような状態、また達成率が低くなるのではと心配しているところではございませう。もうちょっと踏み込んだコロナ対策を打って、この達成に向かってみんなで話し合おうとか、みんながもう一度集まって、いい意見がないか、その辺、無いものでございませうか。コロナが続けばずっとこのような状況で目標がいつまで経っても達成できないのではございませうか。大変立派な方々が揃ってございませうので、もうちょっと踏み込んだ対応策を練ってはいかかございませうか。今後が大変心配でございませう。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。コロナの中でも何とか良い方法等、ご意見をいただいて進めるべきではないかというふうなお話だと思ひませう。全くその通りだと思ひませう。ただ、やはりコロナの影響というのは、例えば交流人口という観光客、そういった部分がコロナの影響を大きく受けていることは紛れもないことで、その観光客、人が動くということはコロナの感染防止対策という部分でも相反する状況になるという部分も事実なかなと思ひませう。</p> <p>ただ、冒頭で市長等からお話のあった「おかえりモネ」効果、これが光の一つかなと思ひませう。それからコロナのワクチン接種、こちらも高齢者の方から順次進んでいるということで、その状況が進んでいけば、かなり明るい未来も見えてくるのかなというふうにお願ひございませう。</p> <p>ただ、いただいたご意見は伺っておきたいと思ひませう。</p>

<p>会 長</p>	<p>確かにおっしゃるように、コロナの影響というのがあるわけですが、その一方でコロナの影響とは関係なく達成できていない、下がっているというものも見受けられます。そのように理由としてコロナを書けばそれで許されるということではないので、そこはしっかりと要因を分析した中で、足りない部分については早急に手を打っていくということで、今後の計画も同様の形で目標設定されていると思いますので、そちらの達成率を上げていくための対策を、今からコロナ後も睨みつつ打っていくということも必要だと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料 11 ページですが、「介護予防普及啓発事業参加者数」とあります。前にもお話したと思いますが、参加者だけ増やしても仕方ないので、それをいかに介護予防に繋げていくかの組織作りを今回の計画はこれで終わりなので、次回の計画に活用事業としてどういうふうにしていくかという構想があるのか、あったら教えていただきたいということが一つと、もう一つは先ほど徳永先生がおっしゃいましたけど、コロナはこれで終わらないんですね。国民全員がワクチン接種を受けるのに計算すると多分2年くらいかかるんですよ。6割にしても1年ですよ。そうすると半年くらいでワクチンの効果が切れれば、今後ずっと続いていくことになるので、今年は仕方ないと思いますが、来年以降はコロナを見据えた感じでやっていかなければならないのかなというふうに思います。その中で市独自の対策をしていくことが大切かと思うのですが、今ぜひITがあるので、特に私たち介護とかの分野にはITが入ってこれる要素が結構あるようなので、その辺を多分私と一緒にするとは思いますが、進めていくような計画が次の5年なりに入っていけるように考えていかないと駄目なんじゃないかなというふうに思って、提案させていただければなというふうに思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>今のお話もその通りのご意見だと思います。承って、関係部署とも情報を共有してまいりたいと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>後半の方についてなんですが、ウィズコロナということも睨みつつやっていかなければならないということですが、今回のその対応の中でそのITというものが非常に効果があるというか、活用できるというところも出てきました。そこにしっかり乗っかっていかないと地域間競争の中でも取り残されていくということにもなるのかと思いますので、そのあたりをしっかりと乗り遅れないようにしていかなければいけないのかなと思っております。逆にこういう地方部においての方が、それをより積極的に使うことによって効率的になるということも多々ありますので、そのあたりをしっかりと研究しながら対応をしていければいいのかなというふうに思っておりますので、よろしく願いします。</p> <p>あと、前半ですね、表面的な数値ではなく、中身の方が重要だということは、他の項目でも言える話だと思いますので、達成率ということだけに汲々とするだけでなく、しっかりとその中身を充実させていくというところも併せてよろしく願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>今、先生がおっしゃったように数値目標、数字だけではなく、やはり問題は中身ではないかなと常に思っています。登米市も機構改革をして、具体的に業務が進んでいるように確かに確認できます。そういう中で、市長がいるときに話せば良かったんですが、市長も2期目に入りましたし、議会の方も新しく、特に若い女性議員も増え、新しい議長も誕生しました。行政と議会と一体となって、アフターコロナの新しい時代に向けて登米市もどんどん発展していかないと大変だと思います。</p> <p>震災からも10年が過ぎました。この際、スピード感を持って、どんどん活性化しながら前進してもらいたい。議会の方も目を覚ましてもらって、よく行政と連携を取りながら、一生懸命登米市の発展のためにみ</p>

	<p>んなで頑張っていかなければならないのではないかと考えております。まちづくり推進部のスタッフの方々も「おかえりモネ」も全国で大変な人気でございますので、これをきっかけにして登米市を全国に広げるような、地域が活性化するように、発展していくようにみんなで頑張っていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>そうしましたら、本日もいくつかの点で具体的なご指摘もいただきましたが、実はそのご意見がその分野だけに限定される話ではなくて、その他のところでも共通して注意していかねばいけない点なのかなというふうに思っておりますので、ぜひともそのあたりを担当課の方にもフィードバックしていただいて、実効性のあるといいますか、中身のあつものにしていっていただければというふうに思います。</p>
委 員	<p>KPI指標のことですが、KPIとは KeyPerformanceIndicator ですよ。令和7年度までの目標値というものがありますけども、これはゴールではないんですよ、あくまでも目標。KGI、ゴールではないんですよ。ゴールというのはどこにあるのでしょうか。我々は一体どこに向かっているのでしょうか。どこまでいけば満足する数値が出るのでしょうかということなんです。目標はいいのですが、何を目標にして、どこに行こうとしているのか登米市は。登米市ならず日本もそうです。どこまでいけば満足するのか。</p>
事務局	<p>大変難しい質問だなと考えておまして、確かに市の最上位計画ということで、総合計画がございます。それを補完する意味で今ご審議いただいている総合戦略があるのかなというふうに考えておまして、それの中では「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」ということで、これを平成28年度からの10年間の取組目標の中で登米市が目指すまちづくりの姿ということで描いたというところがございます。</p> <p>今回、総合戦略で言えば今回ご審議いただいているものは令和2年度までの数値目標、KPIということで、あとそれから、昨年策定していただいた部分であれば、令和7年度までであります。その時点時点で今後5年であったり、10年であったりということで、産業分野、医療分野、教育分野、様々な分野の中で登米市のまちづくりを行っておまして、それぞれの期間内のひとつ目標ということで携えていただいておりますが、当然ですね、その計画期間内の目標であつて、それが終わりの数値ではないということですので、社会経済情勢、様々な変化の中で5年10年が過ぎていきますので、その時点時点で合った目標を設定しながら、先ほど議会というようなお話もありましたけれども、行政であったり、議会であったり、市民の皆さまと一緒に目指すべきまちづくりに向かっていくというような形で進んでございます。なかなか回答にならない部分もありますけども、しっかり皆さまからいただいた意見はこの場にいる職員のみならず関係部署と連携をしながら、今後のまちづくりに活かしていきたいなと考えているところでございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>行政計画ですと、10年というのが長期計画という位置付けになるんだと思いますけれども、実際に今新しく入られた職員からすればですね、あと40年とか、さらに引退した時のことまで考えると60年先まできちんとここに住み続けられるのか、そこで豊かな暮らしができるのかというようなところかと思っておりますので、そういう意味でゴールというのはいつまで経っても無いということなのかもしれないかもしれませんが、とりあえず行政をやっていく上では、10年という、そういう意味では中期目標くらいにはなるのかと思っておりますが、そこをしっかりと睨んでやっていかねばならないと思います。</p>

